

大阪市会議長 辻淳子様

水道記念館の早期再開と飼育生物の存続に関する陳情書

〔陳情趣旨〕

水道記念館の淡水魚類の飼育展示は、日本産淡水魚飼育数日本一を誇り、天然記念物イタセンパラをはじめとして全国屈指の繁殖技術を持ち、全国的にも高い評価を得ています。水道の原水を利用するという他施設にない強みをいかし、琵琶湖・淀川水系の生き物に特化した優れた環境学習施設であり、年間 9 万人が利用しています。また、淀川には外来種が侵入し、在来種全種が危機的な状況にある現在、飼育によって万一に備える必要があることもふまえ、この世界に誇るべき自然環境保全事業である水族展示部門を現状で維持し、一日も早い展示の再開と飼育存続をお願いします。

本年 7 月 18 日に公益社団法人大阪自然環境保全協会（会長 夏原由博）より「水都・大阪市の誇りである水道記念館と生物飼育の存続を要望します」、および 8 月 3 日には淀川水系の淡水魚を次世代につなぐ会（代表 長田芳和）より「大阪市水道記念館の淡水魚展示についての要望」を提出いたしました。この 2 つの団体と、同じ要望をもつ多くの市民とで「水道記念館と生物飼育の存続を考えるネットワーク」を組織し、水道記念館早期再開と生物飼育存続を陳情いたします。

〔陳情項目〕

水道記念館の早期再開と飼育生物全種全個体の飼育及び展示を継続してください。

平成 24 年 9 月 4 日

陳情代表者

「水道記念館と生物飼育の存続を考えるネットワーク」代表

住所

代表者氏名 綾 史郎

電話番号